

2015年6月18日

各位

本店所在地 東京都千代田区麹町2-4
会社名 そーせいグループ株式会社
(コード番号 4565 東証マザーズ)
代表者 代表執行役社長 CEO 田村 眞一
問い合わせ先 執行役副社長 CFO 虎見 英俊
電話番号 03-5210-3290(代表)

導出先のノバルティス社が喘息適応の QVM149 を開発予定

当社 NVA237（グリコピロニウム臭化物）の導出先であるノバルティス社が、ボストン（米国）で開催予定の投資家説明会「Meet Novartis Management」において、長時間作用性抗コリン薬（LAMA）、長時間作用性 β_2 刺激薬（LABA）および吸入ステロイド薬（ICS）を配合した、3 剤併用吸入喘息治療薬 QVM149 を開発予定であることを発表しますので、お知らせいたします。

ノバルティス社は、標準治療薬 LABA/ICS 配合剤を用いても十分に管理できない、中等症から重症喘息患者さんを対象に QVM149 を開発する予定です。QVM149 は、当社導出品のグリコピロニウム臭化物（LAMA）とノバルティス社のインダカテロールマレイン酸塩（LABA）および吸入コルチコステロイド（ICS）モメタゾンの 3 剤を配合した 1 日 1 回吸入の固定用量配合剤です。ノバルティス社は QVM149 の承認申請を 2018 年に予定しています。

グリコピロニウム臭化物は、当社とベクチュラ社が 2005 年 4 月に全世界の独占的開発・販売権をノバルティス社に導出しております。

当社は、ノバルティス社との契約に基づき QVM149 の開発、申請、承認の各段階において、マイルストーンを受領いたします。さらに QVM149 の発売後は、販売高に応じた一定率のロイヤリティを受領できることになっております。

なお、本件による当期連結業績予想の変更はございません。

<ご参考>

喘息について：

喘息は気道に慢性の炎症が生じることにより空気の流れが制限され、反復性の咳、息切れ、呼吸困難が引き起こされる呼吸器疾患です。喘息の発病、症状の誘発には様々なアレルギー誘発物質やウィルス、タバコの煙、科学物質などが関与しています。多くの患者さんは自然に、また治療により症状が改善しますが、これらの誘発因子に繰り返し接することで症状が増悪し、さらに炎症が持続することで気道がより過敏になり、重症化が引き起こされます¹。

小児から高齢者まで幅広い年齢層が罹患し、WHO では全世界で2億3千5百万人の喘息患者がいると推計しています²。

そーせいグループについて：

そーせいグループはグローバルに医薬品開発に取り組む日本発バイオ医薬品企業です。そーせいグループのビジネスモデルの根幹にあるのは、新規・差別化可能な開発品および基盤技術の探索、それらの非臨床・臨床開発の支援、開発・販売提携等を通じて世界中の患者さんに新たな医薬品を届けることです。

詳細については、 www.sosei.com をご覧ください。

出典：

1. Global Strategy for Asthma Management and Prevention, 2015 update. (<http://www.ginasthma.org/>)
2. WHO Fact sheet N°307 (<http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs307/en/>)